

都市再生整備計画 事後評価シート
長岡京市南部第二期地区

平成31年3月

京都府長岡京市

様式2-1 評価結果のまとめ

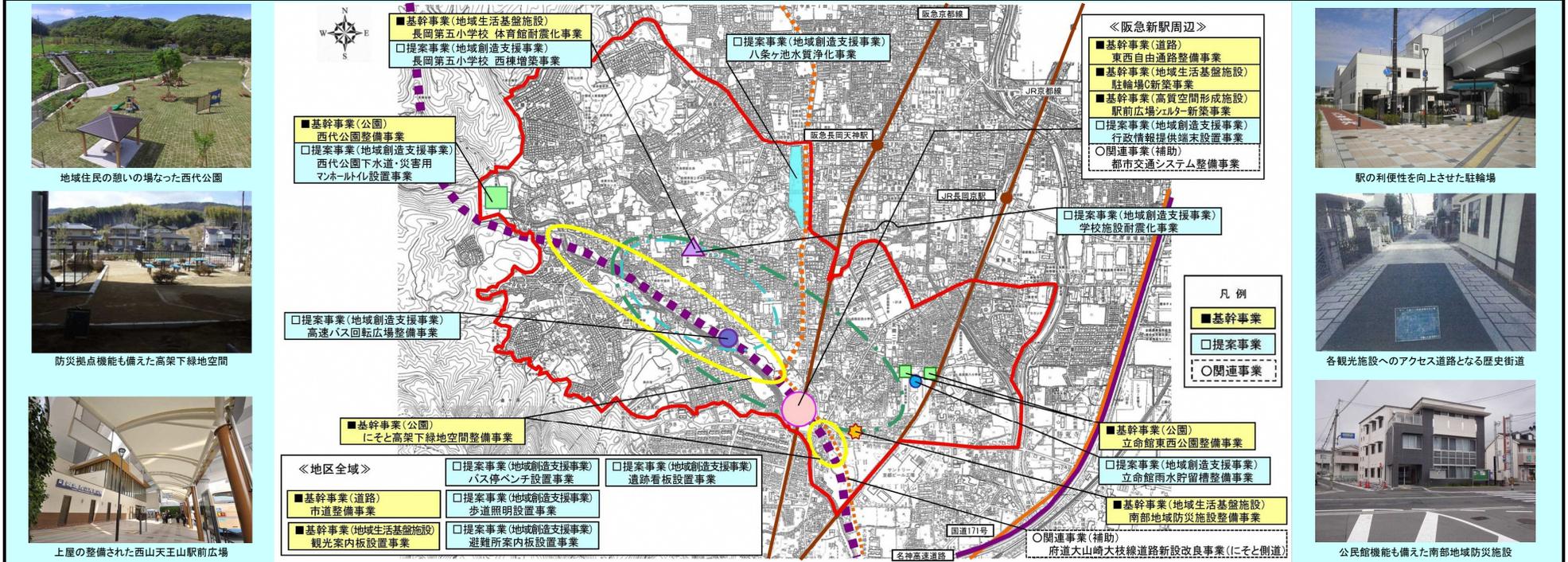
都道府県名	京都府	市町村名	長岡京市		地区名	長岡京市南部第二期地区		面積	約407ha				
交付期間	平成25年度～平成29年度	事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	2,104百万円	国費率	0.39					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(市道整備、東西自由通路) 公園(西代公園、立命館東西公園、にそと高架下緑地空間整備事業) 地域生活基盤施設(自転車駐車場:駐輪場C 情報板:勝竜寺・長岡天満宮他 地域防災施設:第五小) 高質空間形成施設(歩行支援施設:西山天王山駅前広場内)										
		提案事業	地域創造支援事業(バス停ベンチ設置、高速バス回転広場整備、行政情報提供端末設置、第五小学校西棟増築、学校施設耐震化(第五小)、西代公園下水道・災害用マンホールトイレ設置、立命館雨水貯留槽整備、歩道照明設置、避難所案内板設置、遺跡看板設置、八条ヶ池水質浄化)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	高次都市施設(地域交流センター)	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	地域創造支援事業(学校施設耐震化(第八小、第三中))	他省庁の補助事業に変更するため			他省庁の補助事業への転換であるため、数値目標は据え置く						
			地域創造支援事業(観光マップ作成)	事業実施の目処が立たないため			影響なし						
			まちづくり活動推進事業(下海印寺まちづくり協議会支援、新駅に関わるまちづくり勉強会運営支援)	経常的な事業であるため削除			影響なし						
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(地域防災施設:南部地域防災施設)	調子公民館の建て替えについて、防災施設等については高次都市施設の対象とならないため、南部地域防災施設として位置づけを変更し地域生活基盤施設の対象とするため			影響なし						
			高質空間形成施設(緑地施設等:歴史街道整備事業)	道路事業の市道整備事業(市道第4079号線舗装復旧工事)を高質空間形成施設に移行し、歴史街道整備事業と改め、整備方法をアスファルト舗装復旧工事から石畳舗装工事へと変更するため			事業手法、整備方法の変更であるため、数値目標は据え置く						
		提案事業	なし										
	交付期間の変更	当初	平成25年度～平成29年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
	変更	-											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
							モニタリング	評価値					
	指標1	地区内の定住人口	人	28,661	H23	28,814	H29		29,464 (H30.4)	○	あり なし	長岡京ICの供用及び「にそと」の全線開通、阪急西山天王山駅の開業に加え、駅周辺施設や道路などの都市基盤整備により、交通・生活不便が解消し、また、学校施設の耐震補強、地域防災施設等の防災関連整備により、地域の安全性が向上したことが人口増加につながった。	なし
	指標2	1人当たりの公園面積	m ²	3.2	H23	4.5	H29		5.3 (H30.3)	○	あり なし	地域の憩いの場、災害時の避難場所となる西代公園、立命館東西公園、にそと高架下緑地等の計画的な整備を行い、地区内での更なる公園の整備が推進した。	なし
指標3	市民活動の取組み回数	回/年	35	H24	38	H29		41 (H30.3)	○	あり なし	長岡京ICの供用及び「にそと」の全線開通、阪急西山天王山駅の開業等によりまちづくりの機運が高まり、高架下空間の利用について、まちづくり協議会で検討した内容を踏まえた施設を整備するなど、住民主体のまちづくりが行われた。	なし	

3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指標		単位	従前値 基準年度		目標値 目標年度		数 値		目標 達成度※1	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	その他の 数値指標1	西山天王山駅西駐輪場の 利用者数		台/年	49,235	H26	モニタリング	評価値	102,202 (H30.3)				
	その他の 数値指標2											駅利用者の増加に伴い、東駐輪場、中央駐輪場でほぼ100%の稼働率となっているため、西駐輪場も利用者数は増加傾向にあり、今後区画整理事業による利用者増も見込まれる。	なし
4) 定性的な効果 発現状況	<p>○地域の憩いの場や防災拠点としての公園・緑地の整備により、居住地としての魅力、災害時の安全性が高まった。</p> <p>○各種事業による整備が進められたことにより市街化が促進され、平成28年4月に下海印寺下内田土地区画整理準備組合が設立された。</p> <p>○遺跡の案内板・説明板の整備により、市民への周知が図られるとともに、観光資源としての情報発信が可能となった。</p> <p>○八条ヶ池の水質浄化対策により、水質の保全が図られ、観光資源としての魅力向上につながった。</p>												
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	行政による事業の進捗管理			都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	●			今後は本事業に関連して効果を発現できる事業の検討を行う。			
	住民参加 プロセス	下海印寺まちづくり協議会による高架下の整備内容の検討			都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	●			今後も協議会活動に対して積極的な支援を行う。			
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	●			今後も住民活動の啓発や支援を行う。			
	持続的なまちづくり 体制の構築	下海印寺まちづくり協議会			都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	●			今後も住民活動の啓発や支援を行う。			
下海印寺下内田土地区画整理準備組合			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	●			平成30年度の組合設立に向け事業計画の検討を進める。					
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	●			今後も適正に土地利用を図るための誘導施策を実施する。					
新駅や長岡京IC並びに「にそと」の供用開始後における秩序ある計画的な市街地形成のための規制誘導				都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	●			今後も適正に土地利用を図るための誘導施策を実施する。				
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	●							
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	●							

様式2-2 地区の概要

長岡京市南部第二期地区(京都市長岡京市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標 ：長岡京市の歴史や文化、新たに生まれる交通利便性を活かした、魅力あるまちづくりの推進 目標1 ：利便性の高い広域交通結節拠点の形成とアクセス利便性の向上 目標2 ：安全・安心、ゆとりや潤い、地域交流のある住み心地のよい生活環境づくり 目標3 ：魅力的な地域資源を活かした観光・交流の促進	地区内の定住人口	単位：人 28,661	H23 28,814	H29 29,464	H30.4 H30.4
	1人当たりの公園面積	単位：㎡ 3.2	H23 4.5	H29 5.3	H30.3 H30.3
	市民活動の取組み回数	単位：回/年 35	H23 38	H29 41	H30.3 H30.3
	西山天王山駅西駐輪場の利用者数	単位：台/年 49,235	H26		102,202



まちの課題の変化

- 各種事業の進捗により、駅周辺の土地利用は徐々に高度利用が図られつつあるため、ひとびとの活発な交流が展開されるような都市機能の誘導が必要である。
- 西山天王山駅でのP&R駐車場や駐輪場の整備等により公共交通の利用が促進されたが、P&R駐車場は慢性的な駐車容量不足となっている。
- 観光資源を結ぶ観光案内板の設置や、歴史街道の整備等により、観光基盤の充実が図られたが、今後更に広域交通拠点である西山天王山駅の拠点形成機能を活かした、各観光施設の案内、PRなどの情報提供を充実させる必要がある。
- 南部地域防災施設の整備や教育施設の耐震化等により地域の防災環境を高めることができたが、今後更に歩行空間の整備やバリアフリー化を進め、高齢者や障がい者、子育て世代など誰もが安心して通行できる環境を整える必要がある。
- 西山天王山駅周辺での土地利用が活発化し、「下海印寺下内田土地区画整理準備組合」が設立された。今後は、正式な組合設立に向けて関係者間の調整を進める必要がある。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

- 広域交通拠点としての拠点形成機能を活かし、各観光施設への移動、案内などの情報提供の充実及び公共交通への乗り換えの円滑化を図る。
- 高齢者や子育て世代にとって安心・快適な生活環境を構築し、都市の活力を維持・増進できる都市機能を誘導する。
- 現在の歩行空間の改良により、歩行者が安全・快適に通行できる道路空間づくりを行う。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	市道整備	746	L=7,600m	350	L=3,300m	一部路線は地権者と合意が得られず事業中止	影響なし	●	
道路	東西自由通路	57	W=3.5m、L=16m	56	W=3.5m、L=16m	精査による事業費減	影響なし	●	
公園	西代公園	430	22,000㎡	358	22,000㎡	精査による事業費減	影響なし	●	
公園	立命館東西公園	5	1,020㎡	5	1,020㎡	なし	影響なし	●	
公園	にそと高架下緑地空間 (調子二丁目・下海印寺・奥海印寺)	236	5,000㎡、6,000㎡、 5,500㎡	261	5,000㎡、6,000㎡、 5,500㎡	精査による事業費増	影響なし	●	
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	自転車駐車場 (駐輪場C)	209	—	176	—	精査による事業費減	影響なし	●	
地域生活基盤施設	情報板 (勝竜寺・長岡天満宮他)	4	32枚	1	5枚	事業実施の目的が立たない箇所を削除	影響なし	●	
地域生活基盤施設	地域防災施設 (第五小、南部地域防災施設)	361	第五小	135	第五小、地域防災施設	地域防災施設を追加	影響なし	●	
高質空間形成施設	歩行支援施設 (西山天王山駅前広場内)	46	L=80m	44	L=80m	精査による事業費減	影響なし	●	
高質空間形成施設	緑地施設等 (歴史街道整備事業)	新規	—	84	L=800m	道路整備の1路線を景観に配慮した歴史街道整備に移行	事業手法、整備方法の変更であるため、数値目標は据え置く	●	
高次都市施設	地域交流センター	142	610㎡	廃止	—	事業内容の変更により補助対象外となったため削除	影響なし	—	—
既存建造物活用事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	バス停ベンチ設置事業	15	ベンチ13箇所、上屋 6箇所	6	ベンチ13箇所、上屋 6箇所	精査による事業費減	影響なし	●	
	高速バス回転広場整備事業	5	612㎡	15	612㎡	精査による事業費増	影響なし	●	
	行政情報提供端末設置事業	5	1箇所	4	1箇所	精査による事業費減	影響なし	●	
	長岡第五小学校西棟増築事業	390	1,340㎡	430	1,340㎡	精査による事業費増	影響なし	●	
	学校施設耐震化事業	260	第五小、第八小、第 三中	18	第五小	他省庁の補助メニューに一部移行	他省庁の補助事業への転換であるため、数値は据え置く	●	
	西代公園下水道・災害用マンホール トイレ設置事業	25	L=150m、10基	22	L=150m、10基	精査による事業費減	影響なし	●	
	立命館雨水貯留槽整備事業	50	—	93	—	精査による事業費増	影響なし	●	
	歩道照明設置事業	56	200箇所	30	124箇所	事業実施の目的が立たない箇所を 削除	影響なし	●	
	避難所案内板設置事業	8	43箇所	5	43箇所	精査による事業費減	影響なし	●	
	観光マップ作成事業	2	2種類、1.1万部	廃止	—	事業実施の目的が立たないため削 除	影響なし	—	—
	遺跡看板設置事業	8	11箇所	3	10箇所	事業実施の目的が立たない箇所を 削除	影響なし	●	
八条ヶ池水質浄化事業	15	4箇所	8	4箇所	精査による事業費減	影響なし	●		
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業	下海印寺まちづくり協議会支援事業	2	—	廃止	—	経常的な事業であるため、第2回 変更で削除	影響なし	—	—
	新駅に関わるまちづくり勉強会運営支援事業	19	—	廃止	—	経常的な事業であるため、第2回 変更で削除	影響なし	—	—

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
府道大山崎大枝線道路新設改良事業(にそと側道)		大山崎町～長岡京市	—	—	平成17年度～平成24年度	平成22年度～平成25年度	平成25年4月に完成	
長岡京市南部交通結節点地区整備計画事業		西山天王山駅舎	1,423	1,365	平成22年度～平成24年度	平成22年度～平成25年度	平成25年12月に完成	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)		目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	目標年度	モニタリング	事後評価	モニタリング	事後評価	あり	なし	
指標1	地区内の定住人口	人	平成30年4月1日時点の住民基本台帳における人口データにより算出。	28,373	H20	28,661	H23	28,814	H29	モニタリング		モニタリング			
										事後評価	● 確定見込み	29,464	○		
指標2	1人当たりの公園面積	㎡	平成30年4月1日時点の住民基本台帳における人口データと、公園管理表における地区内の公園・緑地面積をもとに算出。	-	-	3.2	H23	4.5	H29	モニタリング		モニタリング			
										事後評価	● 確定見込み	5.3	○		
指標3	市民活動の取組み回数	回/年	平成30年3月31日時点の南海印寺まちづくり協議会による平成29年度の活動実績により算出。	6	H21	35	H23	38	H29	モニタリング		モニタリング			
										事後評価	● 確定見込み	41	○		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	長岡京ICの供用及び「にそと」の全線開通、阪急西山天王山駅の開業に加え、駅周辺施設や道路などの都市基盤整備により、交通・生活不便が解消し、また、学校施設の耐震補強、地域防災施設等の防災関連整備により、地域の安全性が向上したことが人口増加につながった。	-
指標2	地域の憩いの場、災害時の避難場所となる西代公園、立命館東西公園、にそと高架下緑地等の計画的な整備を行い、地区内での更なる公園の整備が推進した。	-
指標3	長岡京ICの供用及び「にそと」の全線開通、阪急西山天王山駅の開業等によりまちづくりの機運が高まり、高架下空間の利用について、まちづくり協議会で検討した内容を踏まえた施設を整備するなど、住民主体のまちづくりが行われた。	-

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)	
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度				
その他の数値指標1	西山天王山駅西駐輪場の利用者数	台/年	西駐輪場の年度別利用者数の実績値より算出。	-	-	49,235	H26	モニタリング	102,202	目標1の「広域交通結節点の形成とアクセス利便性の向上」の達成度を評価する指標としてふさわしいと考えられる。
								事後評価		
その他の数値指標2								モニタリング		
								事後評価		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- 地域の憩いの場や防災拠点としての公園・緑地の整備により、居住地としての魅力、災害時の安全性が高まった。
- 各種事業による整備が進められたことにより市街化が促進され、平成28年4月に下海印寺下内田土地区画整理準備組合が設立された。
- 遺跡の案内板・説明板の整備により、市民への周知が図られるとともに、観光資源としての情報発信が可能となった。
- 八条ヶ池の水質浄化対策により、水質の保全が図られ、観光資源としての魅力向上につながった。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
行政による事業の進捗管理	予定どおり実施した	● 【実施頻度】各年度1回	今後は本事業に関連して効果を発現できる事業の検討を行う。
	予定はなかったが実施した	【実施時期】年度末	
	予定したが実施できなかった (理由)	【実施結果】各年度の事業進捗に応じた整備計画の変更を適宜行い、計画どおりの事業執行を行った。	

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
下海印寺まちづくり協議会による高架下の整備内容の検討	予定どおり実施した	● 【実施頻度】各年度6回程度	今後も協議会活動に対して積極的な支援を行う。
	予定はなかったが実施した	【実施時期】通年	
	予定したが実施できなかった (理由)	【実施結果】協議会の検討内容を踏まえた多目的グラウンドや池を備えた高架下公園が完成した。 高速バス回転広場整備事業の整備内容を協議会で報告することで、地元への理解を得ることができた。	

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
下海印寺まちづくり協議会	予定どおり実施した	にそとや阪急新駅の周辺整備に関連した取り組み、小泉川の水辺環境保全など、幅広いまちづくり活動を展開	組織名:下海印寺まちづくり協議会 組織の概要:明るいまちづくり部会、緑とふるさと部会の2つの部会を設けて、地域の安心・安全なまちづくりの実現を目的とする。	今後も住民活動の啓発や支援を行う。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
下海印寺下内田土地区画整理準備組合	予定どおり実施した	新駅周辺の無秩序な開発を防止し、適切な土地利用を誘導するための基本方針を作成	組織名:下海印寺下内田土地区画整理準備組合 組織の概要:健全な市街地の創造のため、関係権利者間の合意形成を推進し、土地区画整理組合の設立準備を円滑に行うことを目的とする。	平成30年度の組合設立に向け事業計画の検討を進める。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
新駅や長岡京IC並びに「にそと」の供用開始後における秩序ある計画的な市街地形成のための規制誘導	予定どおり実施した	広域交通拠点である本地区の多様な都市機能の誘導・集積を図るため、用途地域の見直しを実施	-	今後も適正に土地利用を図るための誘導施策を実施する。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内検討	道路・河川課、公園緑地課、商工観光課、教育総務課、防災安全推進室、交通対策課、生涯学習課、まちづくり政策室	平成30年7月11日	まちづくり政策室

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標1	指標2	指標3		
指標名		地区内の定住人口	1人当たりの公園面積	市民活動の取組み回数		
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	
基幹事業	道路[市町村道：市道整備]	○	長岡京ICの供用及び「にそと」の全線開通、阪急西山天王山駅の開業に加え、駅周辺施設や道路などの都市基盤整備により、交通・生活不便が解消し、また、学校施設の耐震補強、地域防災施設等の防災関連整備により、地域の安全性が向上したことが人口増加につながった。	—	長岡京ICの供用及び「にそと」の全線開通、阪急西山天王山駅の開業等によりまちづくりの機運が高まり、高架下空間の利用について、まちづくり協議会で検討した内容を踏まえた施設を整備するなど、住民主体のまちづくりが行われた。	
	道路[市町村道：東西自由通路]	○		—		
	公園[西代公園]	○		◎		—
	公園[立命館東西公園]	○		◎		—
	公園[にそと高架下緑地空間整備事業]	○		◎		◎
	地域生活基盤施設[自転車駐車場：駐輪場C]	○		—		—
	地域生活基盤施設[情報板：勝竜寺・長岡天満宮他]	○		—		—
	地域生活基盤施設[地域防災施設：第五小、南部地域防災施設]	○		—		—
	高質空間形成施設[歩行支援施設：西山天王山駅前広場内]	○		—		—
	高質空間形成施設[緑地施設等：歴史街道整備事業]	○		—		—
提案事業	地域創造支援事業：バス停ベンチ設置事業	○	—	—	—	
	地域創造支援事業：高速バス回転広場整備事業	—	—	○	—	
	地域創造支援事業：行政情報提供端末設置事業	○	—	—	—	
	地域創造支援事業：第五小学校西棟増築事業	○	—	—	—	
	地域創造支援事業：学校施設耐震化事業	○	—	—	—	
	地域創造支援事業：西代公園下水道・災害用マンホールトイレ設置事業	○	—	—	—	
	地域創造支援事業：立命館雨水貯留槽整備事業	○	—	—	—	
	地域創造支援事業：歩道照明設置事業	○	—	—	—	
	地域創造支援事業：避難所案内板設置事業	○	—	—	—	
	地域創造支援事業：遺跡看板設置事業	○	—	—	—	
地域創造支援事業：八条ヶ池水質浄化事業	○	—	—	—		
関連事業	府道大山崎大枝線道路新設改良事業(にそと側道)	◎	—	◎	—	
	都市交通システム整備事業(西山天王山駅舎)	◎	—	◎	—	

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	人口減少・少子高齢化を背景に、高齢者や子育て世代にとって安心できる健康で快適な生活環境が必要であるため、生活サービス施設を集約して効率的なサービスの提供を図ることで将来にわたり都市の活力を維持・増進し、魅力あるまちづくりを進める。	今後も計画的に公園の整備を行い、憩いの空間の拡大や、避難場所の増加による防災性の向上を図る。	まちづくり協議会への支援を継続させるとともに、低未利用地の利活用に向けて土地区画整理組合の設立に向けた取組みを進める。
今後の活用	人口減少・少子高齢化を背景に、高齢者や子育て世代にとって安心できる健康で快適な生活環境が必要であるため、生活サービス施設を集約して効率的なサービスの提供を図ることで将来にわたり都市の活力を維持・増進し、魅力あるまちづくりを進める。	今後も計画的に公園の整備を行い、憩いの空間の拡大や、避難場所の増加による防災性の向上を図る。	まちづくり協議会への支援を継続させるとともに、低未利用地の利活用に向けて土地区画整理組合の設立に向けた取組みを進める。

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内検討	道路・河川課、公園緑地課、商工観光課、教育総務課、防災安全推進室、交通対策課、生涯学習課、まちづくり政策室	平成30年7月11日	まちづくり政策室

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
課題1 広域交通の結節拠点として、公共交通の利用促進や交通・生活不便の解消を図る必要がある	西山天王山駅に駐輪場、東西自由通路や歩行者用のシェルターを設置し、交通・生活不便を解消し、公共交通の利用促進が図れた。	駅開業及び周辺の整備により、駅利用者が増加しP&R駐車場は慢性的な駐車場容量不足となっている。	駅周辺の土地利用は徐々に高度利用が図られつつあるため、ひとびとの活発な交流が展開されるような都市機能の誘導が必要
課題2 広域交通機能の強化にあわせて、広域観光の玄関口として周辺の観光基盤等の充実を図る必要がある	南部地域の点在する観光資源を結ぶ観光案内板を設置また各観光施設へのアクセス道路である歴史街道を景観に配慮した石畳舗装に整備することで、観光基盤の充実が図れた。	広域交通拠点である西山天王山駅の拠点形成機能を活かした、各観光施設の案内、PRなどの情報提供を充実させる必要がある。	
課題3 地域の憩いの場や防災拠点として、公園・緑地の整備による住環境の魅力を高める取り組みを図る必要がある	西代公園やにそと高架下緑地空間等の整備により、地域の憩いの場が拡大し、あわせて避難場所の増加により防災性が向上し住環境の魅力向上が図られた。	身近な地域の憩いの場としての利活用を促進していく必要がある。	
課題4 災害時の安全性の確保に向け、地域の防災環境を総体的に高める必要がある	南部地域防災施設の整備、災害時に必要となる雨水貯留槽及び災害マンホールトイレ、教育施設の耐震化等により地域の防災環境を総体的に高めることができた。	歩行空間の整備やバリアフリー化を進め、高齢者や障がい者、子育て世代など誰もが安心して通行できる環境を整える必要がある。	
課題5 地域住民の交流を深め、地域コミュニティを高めるための拠点整備を図る必要がある	にそと高架下空間の活用について、地元協議会で検討するなど事業を機に地域の交流が高まった。また新駅周辺の土地利用が活発化し、「下海印寺下内田土地区画整理準備組合」が設立された。	「下海印寺下内田土地区画整理準備組合」については、正式な組合設立に向けて関係者間の調整を進める必要がある。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	広域交通拠点の強みを活かした事業の実施	広域交通拠点としての拠点形成機能を活かし、各観光施設への移動、案内などの情報提供の充実及び公共交通への乗り換えの円滑化を図る。	観光PRのためのデジタルサイネージの整備 ・駅周辺の重要な埋蔵文化財を説明する埋蔵文化財説明板 ・慢性的な容量不足を解消させるP&R駐車場の拡張

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	都市機能の向上が図れる都市施設の誘導	高齢者や子育て世代にとって安心・快適な生活環境を構築し、都市の活力を維持・増進できる都市機能を誘導する。	済生会京都府病院の移転
	生活や暮らしを支える都市基盤の充実	現在の歩行空間の改良により、歩行者が安全・快適に通行できる道路空間づくりを行う。	歩行空間改良事業
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
指標	内容		年度	年度	年度	年度	評価値	評価値			予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	地区内の定住人口	人	28,661	H23	28,814	H29	確定 ●	29,464	●	あり			
							見込み			なし			
指標2	1人当たりの公園面積	m ²	3.2	H23	4.5	H29	確定 ●	5.3	●	あり			
							見込み			なし			
指標3	市民活動の取組み回数	回/年	35	H24	38	H29	確定 ●	41	●	あり			
							見込み			なし			
その他の数値指標1	西山天王山駅西駐輪場の利用者数	台/年	49,235	H26			確定 ●	102,202		あり			
							見込み			なし			

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	—	次期計画では事業に直結する数値目標を設定するようにする。
	うまく いかなかった点	事業との因果関係がわかりづらい数値目標となっていた。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	各年度の事業進捗を関係課と調整を行い、進捗に応じて整備計画の変更等を行っていたため、目標と事業の整合が取れた。	次期計画を実施する際も関係課と調整を行い適正な事業進捗を行う。
	うまく いかなかった点	—	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	下海印寺まちづくり協議会における説明会や勉強会の実施により、地元の理解を得ることができた。	次期計画でも住民に対する情報提供や検討機会の提供を行う。
	うまく いかなかった点	—	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	下海印寺まちづくり協議会における説明会や勉強会の実施により、地元の検討内容を踏まえた施設を整備することができた。	次期計画でも住民に対する情報提供や検討機会の提供を行う。
	うまく いかなかった点	—	
その他	うまくいった点	—	
	うまく いかなかった点	—	

添付様式6—参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

平成31年度より「西山天王山駅周辺地区」として計画を実施する。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	長岡京市のホームページに掲載	平成30年7月17日～平成30年7月31日	平成30年7月17日～平成30年7月31日	下記の方法でまちづくり政策室に提出 ・郵送 ・持参 ・FAX ・メール	まちづくり政策室
広報掲載・回覧・個別配布	広報長岡京に掲載	広報7月15日号に掲載	平成30年7月17日～平成30年7月31日		
説明会・ワークショップ	なし	—	—		
その他	長岡京市まちづくり政策室にて閲覧	平成30年7月17日～平成30年7月31日	平成30年7月17日～平成30年7月31日		

住民の意見	<p>下記のとおり1件意見あり</p> <p>■観光案内板について 何種類か設置されてるようですが、長岡京市南部の土地の記憶、人物の往来の記憶を説明する案内板を設置(西山天王山駅)しては如何でしょうか。</p>				
-------	---	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	見上 崇洋(立命館大学教授) 大田 直史(龍谷大学教授) 奥谷 三穂(京都府立大学京都地域未来センターCOC+特任教授) 佐伯 康介(元京都市交通政策監)	平成30年10月30日	まちづくり政策室	長岡京市まちづくり条例により設置	まちづくり審議会
その他の委員	中小路 美津子(市民公募委員) 大元 尚弘(市民公募委員) 正野 暢夫(京都府乙訓土木事務所建築住宅室長) 小山 寿美(農業関係従事者) 坂本 博士(不動産関係団体推薦) 澤田 洋一(長岡京市統括監)				

審議事項※1	委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	
方法書	・方法書に沿って、事後評価適正に実施されたことが確認された。
成果の評価	・評価結果について適正であると確認された。 ・指標の「市民活動の取り組み回数」について、市民活動という一般的な文言であるのに対して、測定対象は下海印寺まちづくり協議会となっており、測定対象をもっと広い幅の対象にすべきであった。
実施過程の評価	・適正であると確認された。
効果発現要因の整理	・適正であると確認された。
事後評価原案の公表の妥当性	・適正であると確認された。
その他	・特になし
事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・妥当であると確認された。
今後のまちづくりについて審議	
今後のまちづくり方策の作成	・事業によって発生した新たな課題の文言が誤解を招くような表現であるため、修正が必要とのご意見を頂き、修正した内容で適正であると確認された。
フォローアップ	・フォローアップは実施しないことについて適正であると確認された。
その他	・特になし
今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・妥当であると確認された。
その他	・成功体験だけでなく、次に活かせるような失敗体験があれば評価に盛り込んではどうか。

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。